学校番号	２１２

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	書Ⅲ（教育図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文字を素材とした表現活動を中心とし、さまざまな題材について表現のねらいをもちながら自己表現を展開していく。

・「漢字仮名交じりの書」の学習では、身近にある題材や、自らの思い・感動を表す語句を選び、芸術的な表現を工夫するとともに、実用的な表現形式にもその技法や知識を生かしていく。

・「漢字の書」の学習では、個性的な書風の幅広い古典にふれることによって表現と鑑賞の能力を高め、それらを創作に生かしていく。

・「仮名の書」の学習では、幅広い書風の古典にふれることによって表現と鑑賞の能力を高め、それらを創作に生かしていく。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情と書の伝統と文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな書の能力を高める。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	・書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情や、書の伝統と文化を尊重する態度を身につけようとしている。	・感性を磨き、創造性豊かな表現を工夫している。 ・確かな表現技法を習得し、それを生かしてより自由で個性的な表現を工夫している。	・自己の感興や意図を実現するため構想を具体化し、主体的に個性的・創造的な表現をすることができる。	・鑑賞などの活動を通して、書の伝統と文化について理解している。 ・書と生活や諸文化との関わりについて理解している。
評価方法	・学習活動への参加状況や態度 ・学習プリント ・創作プリント	・作品 ・学習プリント ・創作プリント	・作品	・学習活動への参加状況や態度 ・鑑賞プリント
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	書と文化	・書は、先人たちの創造力と、他の芸術や文化、思想、文学、政治、社会などどが密接に関連しながら長い歴史の間に築かれてきた文化であることを理解する。	○			○	a:書が、各時代の生活や諸文化と結びつきながら発展し、人々の心に潤いを与えてきたことを理解しようとしている。 d:書が、長い歴史に裏打ちされた東洋独自の文化と高い精神性を持つ芸術であることを理解している。	観察 学習プリント
	古典に学ぶ①	・漢字の五つの書体・様々な書風への理解を深める。 ・臨書学習により、特徴を理解し、用筆法・運筆法などの表現技法を学ぶ。	○	○	○	○	a:漢字の五つの書体に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。それぞれの書体・書風の用筆や運筆などの特徴に関心を持っている。古典の書美と表現技法に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組んでいる。 b:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d:様々な書体・書風の違いを理解している。それぞれの用筆や運筆の特徴を理解している。古典の書美とその表現技法を理解している。	観察 作品
	古典に学ぶ② 半切の臨書作品	・自らの興味・関心に基づき、学習する古典を選択する。 ・選択した古典の書風や、用筆法・運筆法などの特徴を把握する。 ・多角的に古典を分析し、その書風の特徴を生かした創造的な表現を工夫する。 ・選択した古典の時代性や精神性について理解を深める。	○	○	○	○	a:漢字の五つの書体に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。それぞれの書体・書風の用筆や運筆などの特徴に関心を持っている。古典の書美と表現技法に関心を持ち、意欲的に臨書や鑑賞に取り組んでいる。 b:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。 c:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。 d:様々な書体・書風の違いを理解している。それぞれの用筆や運筆の特徴を理解している。古典の書美とその表現技法を理解している。	観察 作品

	漢字の書の創作	・自ら語句を選び、各書体・書風の特徴を生かした表現を工夫し、皿作品を制作する。全体の構成などを工夫する。	○	○	○	○	a:漢字の書の創作に意欲的に取り組み、表現の構想から完成に到るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。 b:古典に基づく表現を工夫している。感興や意図に応じた表現や、全体の構成を工夫している。 c: 古典に基づく表現を工夫し、個性的に表現することができる。感興や意図に応じた表現や、全体の構成を工夫することができる。 d:古典に基づく表現と個性的な表現について理解している。	観察 創作プリント 作品
	作品鑑賞	・作品の相互鑑賞	○			○	a:書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。 d:書作品を鑑賞し、作品の持つ書のよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 鑑賞プリント
2学期	コンクール	・漢字・仮名・漢字仮名交じりの書・一字書・篆刻などから各自が選択し、コンクール作品に取り組む。	○	○	○	○	a:コンクールの作品制作に意欲的に取り組んでいる。 b:各分野の用筆や運筆、字形や構成などの表現を工夫している。 c: 各分野の用筆や運筆、字形や構成などを工夫して表現することができる。 d: 各分野の用筆や運筆、字形や構成などを理解している。	観察 作品
	大字での表現	・全紙に大筆で一字書に取り組む。線質や字形、紙面構成を工夫する。	○	○	○	○	a:大字での一字書に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b:線質や字形、紙面構成を工夫している。 c:線質や字形、紙面構成を工夫して表現することができる。 d:線質や字形、紙面構成を理解している。	観察 作品
	作品鑑賞	・作品の相互鑑賞	○			○	a:書作品に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている。 d:書作品を鑑賞し、作品の持つ書のよさや美しさを創造的に味わっている。	観察 鑑賞プリント

2・3学期	卒業作品展	・3年間で学んだ表現の中から、各自が選択し、作品を制作する。 ・臨書・創作、漢字・仮名・漢字仮名交じり・一字書・篆刻などから各自の感興や意図に応じた作品を制作する。 ・相互批評をする。 ・屏風や軸などに表装して展示し、鑑賞する。	○	○	○	○	a:卒業作品展の制作に意欲的に取り組んでいる。自己の意図に基づき、様々な表現を試みることに意欲的に取り組んでいる。用具・用材の特性を生かして様々な表現を試みることに、意欲的に取り組んでいる。 b:感興や意図に応じた用筆や運筆、字形や構成などの表現を工夫している。用具・用材の特性を理解し、様々な表現を工夫している。 c: 感興や意図に応じた用筆や運筆、字形や構成などを工夫して表現することができる。用具・用材の特性を理解し、様々な表現を工夫することができる。 d: 用筆や運筆、字形や構成、などを理解している。 用具・用材の用い方などにより、さまざまな表現が可能であることを理解している。作品を互いに鑑賞し合い、意見交換をすることができる。	観察 創作プリント 作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。